



響き

No.138

2008.12.15

発行 莊原公民館

斐川町莊原町712-3

(電・FAX) 72-4600

ふるさと莊原を再発見!!



地区文化祭「昭和の写真展」

莊原ぶらり 歴史散歩



汽船町自治会付近にて



観音寺で説明する岡岡さん

今年度、莊原公民館の設立三十周年を記念して様々な事業が行われました。その中で、文化祭の際の「昭和の莊原写真展」と十月、十一月、十二月の三回に亘り行われた「莊原ぶらり歴史散歩」は、いずれも私たちのふるさとである莊原地区を様々な角度から再発見できる事業になりました。「莊原ぶらり歴史散歩」の詳細については次頁に掲載しています。ご一読ください。

莊原再発見する 二つの事業を開催

目次

- ふるさと莊原再発見……………(1)
- 莊原ぶらり歴史散歩……………(2)
- 4団体と個人7名に感謝状……………(3)
- やまももの会だより他……………(4)

庄原の歴史を歩いて散策

三回に亘り延べ八十人が参加

公民館設立三十周年を記念し十月から三回に亘り「庄原ぶらり歴史散歩」が開催されました。これは私たちのふるさと庄原の町を地元の歴史に詳しい方を招いてお話を聞きながら実際散策する中で再発見するもので延べ八十人の参加がありました。一回目は十月七日(火)講師に池橋達夫さん、保科晴夫さんを招き「絵図から見た庄原のまちなみ」と題し開催。二回目は十一月四日(火)講師に穴道年弘さん、富岡義雄さんを招き「庄原地区の狢犬めぐり」と題し開催。三回目は十二月九日(火)「上庄原まちなみ見て歩き」と題し富岡義雄さんを招き開催しました。参加者の方にコメントを寄せて頂きました。

「庄原ぶらり歴史散歩」に参加して

池淵 光徳

十月十四日、古きを尋ねて新しきを知る、との池橋先生の言葉にハッとさせられ、庄原の地名が古文書に記載せられる古さに感激し、穴道湖湖岸線の移り変わりに、ダイナミックな斐伊川の力を感じた。保科さんから、庄原の町を歩きながら昔の話を聞き、汽船町から松江まで船で行った日を追憶した。十一月四日、穴道さんから、各神社の狢犬の型式、尻尾の形、姿の型式等の話を聞く事が出来た。何れも一般の書籍からは伺い出来ぬものばかり。富岡さんには伊勢の宮、宗玄寺、観音寺に案内頂き、普段では聞くことの出来ぬ詳しい話を伺った。ふるさととの歴史を振り返り、こんなに素晴らしい町であったかと感激しながら先人の活躍を偲んだ。

11月に行われた第2回目の会で町を散策する参加者



「庄原町・昔の面影」

保科 晴夫

庄原という地名は「魏元日記別録」の文明八年(一四七六)幕府奉公人飯尾氏の所領として見えるのが初見である。

庄原の発生の地は、明治二十二年(一八八九)「地籍図」の大字三絡の字名に「庄原」とある事から、ここから北高瀬川、堀切川、羽根川、石川などの沖積作用によって、庄原は東方へ細長く造成されていきます。

町が形成されるのは、確証はないが、宗玄寺の開基が慶長二年(一五九七)と伝える事から、十六世紀末頃から町の形態が整いつつある。観音寺の開基を見ると、延宝四年(一六七六)と伝え、段々湖岸にそう形で、南北の細長い現在の町なみが出来て行く。

寛文四年(一六六四)松江藩は、出西と庄原に、「川方」を置き、奥出雲三郡の年貢米や生活物資を、斐伊川と穴道湖を結ぶ高瀬川の川船に寄せ、庄原を中継地として、松江方面への輸送を、途中中断はあったが、新川が開削されるまで続きます。

新川の開削は大保二年(一八三二)から翌年にかけて開削された。松江藩の建前は、新田開発政策であるが、新川は出西から下庄原の東西を貫いて開削され、その沖積作用により、徐々に湖岸が東進し、村域が拡大して行きます。

その反面、新川の開削計画は、住民に極秘の内に進められ、家屋の移転、代替地への不満、集落の分断等、様々な問題があった事も、見逃すことが出来ません。

明治以降、船川が整備され、庄原、松江間に、蒸気船が就航します。庄原の町は、山陰街道の通り道とし、船運と共に、水陸交通の要衝として、活気ある重要な町として栄えていました。

やがて明治四十三年(一九一〇)国有鉄道山陰線が開通することになり、次第に水運の便が不要となり、大正四年以降は、汽船の入港は見られなくなり、港町としての機能を失い、商業の町へと変容していったのです。

荘原公民館 設立30周年記念

今回感謝状を受けられた、右から昭和会代表の岩谷さん、北新町婦人会代表三浦さん、やまももの会代表伊藤さん、おいでませの会ボランティア代表小松原さん、神門弘明さん



さる10月11日(土)午前、荘原公民館設立30周年を記念し、式典が行われました。式典では、まず永きにわたり公民館の運営、発展に貢献された4団体と個人7名の方々に感謝状が贈呈されました。そして、荒神谷博物館長の藤岡大拙さんによる講演会も行われました。今回感謝状を贈呈された皆さんは次の通りです。

四団体と個人七名に感謝状 記念式典で贈呈

10月11日(土)

《今回感謝状を贈呈された皆さんとその功績》

◇荘原地区老人クラブ

荘和会の皆さん

公民館設立以来永きに亘り館外の清掃奉仕及び雑巾の寄贈を続けられました。

◇北新町自治会婦人会の皆さん

公民館設立以来永きに亘り館内の清掃奉仕を続けられました。

◇公民館女性部

やまももの会のみなさん

公民館の女性部として結成以来福祉、環境等多彩な活動を通じ荘原地区



右から須田光香さん、梅 真一さん、加納慶蔵さん、新宮光枝さん、山形 栄さん、松本 需さん

の活性化に貢献されました。

◇ミニティサービス おいでませの会

ボランティアの皆さん

荘原地区ミニティサービスのボランティアとして開設当初より無償の奉仕に誠心誠意取り組まれました。

◇神門弘明さん

荘原公民館長として十年間に亘り地域づくり及び公民館事業に推進されました。

◇須田光香さん

公民館運営審議委員をはじめ各方面で永きに亘り公民館の充実発展に尽力されました。

◇梅 真一さん

公民館設立当初から永きに亘り陶芸教室の指導者として又高齢者の範として活躍されました。

◇加納慶蔵さん

斐川町荘原地区体育指導員として永きに亘り軽スポーツの普及活動に貢献されました。

◇新宮光枝さん

公民館の美化活動をはじめ町内の花壇を永きに亘り管理されました。

◇山形 栄さん

斐川町荘原地区体育指導員として永きに亘り軽スポーツの普及活動に貢献されました。

◇松本 需さん

斐川町荘原地区環境美化委員として永きに亘り公民館の美化活動に貢献されました。

10月12日(日)

地区文化祭開催

マリンバの演奏にうつとり
ゲスト奏者 福代亜弥さん

十月十二日(日)、荘原地区の文化祭が公民館と隣接するアイソとして郵便局を主な会場に行われました。

また公民館駐車場では野菜市、手作りのケーキ、パンの販売、消防団の車展示等も行われました。

午後、集会所で行われた各教室等の発表会にはゲストとしてマリンバ奏者の福代亜弥さんが来場、軽快で時に優しく時に力強い演奏に酔いしれました。



福代さんのマリンバの演奏に聴き入る皆さん

羽根盆踊り「伝統文化こども教室」

斐伊川サミットで 踊りを披露

11月3日
文化の日

今年は羽根の盆踊り「伝統文化こども教室」を開催しました。約四十名ものこども達が六月から延べ二十回の教室に参加しました。



大社「うらら館」のステージで羽根の盆踊りを披露する皆さん

に力点をおきました。こども達は出場回数を重ねる毎に上達し、自信に満ち、笑顔で踊る姿には一種の感動すら覚えるようになりました。

十一月三日、大社町で行われた斐伊川サミットでは幕が上がると、ステージ上で赤いはっぴ姿のこども達が青いバックライトに浮かび躍動しました。まさに、大社ブレイス「うらら館」九百名の観客が絶賛七十七名にも及ぶ踊りに酔いしれた瞬間です。

この教室を続けて良かったとしみじみ感じたときでもありました。

(黒田 義重)



会場前で、ハイポーズ

インフォメーション

〈お礼〉

金一封

渡部 重夫様

9月に行われた町福祉大会で表彰を受けられ公民館に金一封を寄付されました。ありがとうございます。

表彰を受けられた渡部さん



〈やまももの会だより〉

紅葉の秋、美術館を訪ね石見路へ

「やまももの会」文化部主催の「石見地方美術館視察」が11月30日(日)行われ、22人が参加しました。

一行は午前8時荘原公民館を出発。国道沿いの紅葉を楽しみながら一路、江津市「今井美術館」へ。現在行われている「コレクション展～秋・冬」を鑑賞。お昼を取った後、「浜田郷土資料館」、そして「世界子供美術館」へ。ここでは開催中の「福田繁雄ポスター展」「後藤正治写真展」を鑑賞。特に写真展では中東、特にシルクロードの幻想的な写真の散々に魅了されました。

浜田郷土資料館にて



荘原地区 ミニデイサービス

おいでませ館だより

高齢者の方が集う憩いの場として皆が触れ合い、心身ともにリフレッシュできるミニデイサービス「おいでませの会」があります。現在、会員七十三名とボランティア三十二名で毎月三回に分かれ運営しています。皆さん毎回大変喜んで参加頂いています。

十月には、荘原小学校三年生の子供達との交流会があり、大変盛会で元気をもらいました。また荘原駐在所の原田さんからは振り込め詐欺防止のお話や腹話術の披露もありました。

十二月の「一年忘れの会」ではカラオケや年越しそばを食、一年を締めく

くりたいと思っています(渡部)

【今後の事業予定】

十二月：一年忘れの会

一月：新年会

二月：荘原小学生との交流会

三月：お話し会



10月に行われた「おいでませの会」で腹話術を披露する荘原駐在所の原田さん